

令和8年度 ブックプラス（1歳6～8か月児）絵本リスト ※この中から1冊お選びいただけます

番号	絵本名	作者名	出版社	内容
1	だるまさんが	 かがくい ひろし：作/絵	プロンズ新社	泣く子も笑う、変幻自在なだるまさんのとびきりゆかいな絵本シリーズ
2	だるまさんと	 かがくい ひろし：作/絵	プロンズ新社	泣く子も笑う、変幻自在なだるまさんのとびきりゆかいな絵本シリーズ
3	だるまさんの	 かがくい ひろし：作/絵	プロンズ新社	泣く子も笑う、変幻自在なだるまさんのとびきりゆかいな絵本シリーズ
4	たまごさんがね	 とよた かずひこ：作/絵	童心社	たまごさんがぼとんと落っこちて、ころころころころ……ぐっしゃ～ん！ どうなっちゃうのかと思ったら、「しんぱいごむよう！」だって。じつはね……。最後はおともだちもよんで、さあ、たんとたんとめしあがれ。
5	すりすり ももんちゃん	 とよた かずひこ：作/絵	童心社	ももんちゃんが砂場で遊んでいると、ひよこさんやきんぎょさん、ねずみさん、いぬさん、そしてさぼてんさんなど、さまざまな友だちがやってきて、ももんちゃんに「すりすり」と親しみを表現します。シンプルでリズムカルな文章と、温かみのあるイラストが特徴で、読者に安心感と喜びを与える内容となっています。
6	はみがきあそび	 きむらゆういち：作/絵	偕成社	読者からのリクエストが一番多かった歯みがきをしかけ絵本にしました。遊びながら歯みがきの習慣が身につきます。犬や猫、かいじゅうさんが、楽しそうにハミガキする姿をしかけを使った、分かりやすい絵本になっています。
7	がたんごとん	 安西 水丸：作	福音館書店	がたんごとんがたんごとんと、まっ黒な汽車がやってきます。駅で待っているのは哺乳瓶。「のせてくださいーい」と言って汽車に乗り込みます。ふたたび出発し、がたんごとんと次の駅へ。みんなをのせて汽車は「がたんごとん」と終着駅へ。そこは……。くり返しのリズムが楽しい赤ちゃん絵本です。
8	おべんとうバスの かくれんぼ	 真珠 まりこ：著・絵	ひさかたチャイルド	ハンバーグくんにお焼きさん、えびフライちゃん……。子どもたちの大好きなお弁当のキャラクターが、みんなでかくれんぼ。あそこに隠れているのは、だあれ？ あてっこして親子で遊ぶ絵本です。
9	もこもこもこ	 谷川俊太郎：	文研出版	「もこもこもこ、によきにょき」みるまにふくれあがった大きなものは、突然パチンとはじけて……。子どもならではの感性が刺激される、定番の赤ちゃん絵本。読むたびに、新しい喜びや驚きが広がります。
10	ポッポーきかんしゃ よるさんぼ	 とよた かずひこ：作/絵	アリス館	「しくしく えんえん ねむれないよ」やってきたのは、羊さんと赤ちゃん。ポッポーきかんしゃに乗って夜のお散歩に出発です。ガタンゴトン ガタンゴトン……。いつのまにかすやすや。おやすみ前の読み聞かせにぴったりです。
11	ぞうくんのさんぼ	 なかの ひろたか：作・絵	福音館書店	ぞうくんはさんぼに出かけました。かばくんに会って、さんぼに誘うとかばくくんはぞうくんの背中に乗りました。わにくんに会って、さんぼに誘うと、わにくんはかばくんの背中に乗りました。最後にかめくんに会って、かめくんがわにくんの背中に乗ると…